

# 安全教育「救命手当講習会」



## DATA

- 主な連携先・メンバー  
堺市立福田小学校／関西大学人間健康学部灘英世ゼミ
- 活動地域  
大阪府堺市
- 活動期間  
2018年度～継続中
- 活動資金  
堺市と関西大学との地域連携事業

### 活動の目的

- 1 児童がいざという時の心得と行動についての知識と技術を習得すること
- 2 教職をめざす学生のための安全教育の教材開発

### 連携にいたる経緯

堺市と関西大学との地域連携事業において、児童の「いのちの教育」として堺市の小学校を対象に講習会の公募を行い、堺市立福田小学校からご依頼で開催した。

### 活動内容

小学生(70～80名)を対象に日本赤十字社が行っている「児童のための救命手当プログラム」(45分カリキュラム)を参考に安全教育「救命手当講習会」を行った。本活動の目的は「いのちの教育」をテーマに、生命に係わる「いざという時の行動」を学ぶことによって、子どもたちが自分や家族・友だちの命や健康の大切さを振り返るとともに、いざという時に自分たちでも人を助けるために何ができるのかを実感することである。また、将来教職を目指す学生たちにとっては、「いのちの教育」をプログラムとして実施するにあたって、今回、直接子どもたちに指導を行うことで子どもたちの実態及び課題について学ぶことができる。

#### 【講習内容】

- 周囲の観察
- 傷病者の観察
- 意識の確認
- 協力者の要請
- 胸骨圧迫とAEDについて



### 活動の成果

- 1 自分自身の安全を守り、周りの人と協力して傷病者を助けることの大切さを学んだ
- 2 自分や家族・友だちの命や健康の大切さを振り返ることができた
- 3 児童でも十分に人を助けられるだけの技量があることが確認できた

### 今後の課題・目標

もっと多くの小学校・児童に、「いのちの教育」(BLS講習会)を広めていきたい

#### 教員紹介



■ 人間健康学部 教授

灘 英世  
Hideyo Nada

灘ゼミでは教職志望の学生と共に「理想の体育科教師像」を追い求めている。  
 〈資格〉日本赤十字社救急法指導員  
 〈自称〉現役のトライアスリート